

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	3	単位数	5
類型	共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択		
学習の到達目標				使用する主な教材			
わが国の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、わが国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				詳説日本史（山川出版社） 新詳日本史図説（浜島書店）			
期	月	配当時間	学習内容	学習の具体的内容とねらい			
第一 学期	4	18	第8章 幕藩体制の動揺 <b>第IV部 近代・現代</b> 第9章 近代国家の成立 1：開国と幕末の動乱 2：明治維新と富国強兵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。</li> <li>・ 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。</li> </ul>			
	5	1	中間考査				
	6	20	3：立憲国家の成立と日清戦争 4：日露戦争と国際関係 5：近代産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。</li> <li>・ 東アジアをめぐる国際環境が変容するなか、不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。</li> </ul>			
	7	7	6：近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1：第一次世界大戦と日本 2：ワシントン体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。</li> <li>・ 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。</li> </ul>			
	8	4	3：市民生活の変化と大衆文化 4：恐慌の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察する。</li> </ul>			
	9	15	5：軍部の台頭 6：第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</li> <li>・ 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目する。</li> </ul>			
	10	7	第11章 占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。</li> </ul>			
第二 学期	10	1	中間考査				
	10	10	第12章 高度成長の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。</li> </ul>			
	11	17	第13章 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。</li> </ul>			
	12	1	期末考査				
第三 学期	12	10	センター試験・個別試験に向けた総復習・問題演習				
	1	1	卒業考査				
	2						
3							
評価の方法			定期考査および小テストの実施、課題提出等を総合して評価する。				